

調査日：2018年9月19日、10月16日、11月15日(9:00~12:00)

科名	和名	9月	10月	11月
カモ科	オシドリ			5
	オカヨシガモ			20
	マガモ		3	67
	カルガモ	124	102	88
	ハシビロガモ			4
	オナガガモ		26	26
	コガモ	5	103	238
	ホシハジロ		1	13
	キンクロハジロ		1	12
	スズガモ	2		2
	ミコアイサ			2
カイツブリ科	カイツブリ	12	37	35
	カンムリカイツブリ		1	161
	ミミカイツブリ			1
	ハジロカイツブリ		4	72
ウ科	カワウ	192	188	110
サギ科	ゴイサギ	12		
	アマサギ	2		
	アオサギ	17	9	8
	ダイサギ	19	11	7
	チュウサギ	7		
クイナ科	コサギ	17	19	8
	バン		3	
シギ科	オオバン	13	35	105
	イソシギ		1	
カモメ科	ヨリカモメ		3	70
	セグロカモメ			2
	ニシセグロカモメ			1
	クロハラアジサシ		16	17
ミサゴ科	ミサゴ	1	1	3
タカ科	トビ	1		
カワセミ科	オオタカ		1	1
	カワセミ	3	5	3
カラス科	ハシボソガラス	1	16	16
	ハシブトガラス			1
ツバメ科	ツバメ	5		
セキレイ科	ハクセキレイ			1
	セグロセキレイ		1	
外来種	コブハクチョウ	26	34	48
	ドバト			1
13科	38種	459	621	1148

*外来種を除いた合計



コブハクチョウ (9月)



ショウドウツバメ (9月)



クロハラアジサシ (10月)



コガモ (10月)



ミサゴ (11月)



オシドリ (11月)

*写真は調査区外で撮られたものもあります

あびこ鳥だより

ABIKO BIRD MUSEUM LETTER Vol.53

Winter
2019
【冬号】



利用案内

- 開館時間 午前9時30分~午後4時30分
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、館内整理日、年末年始(12/29~1/4)

	区分	個人	団体
入館料 (当日有効)	一般	300円	240円
	高校生・大学生	200円	160円
3館共通入館料 (1か月有効)*	一般	600円	
	高校生・大学生	400円	

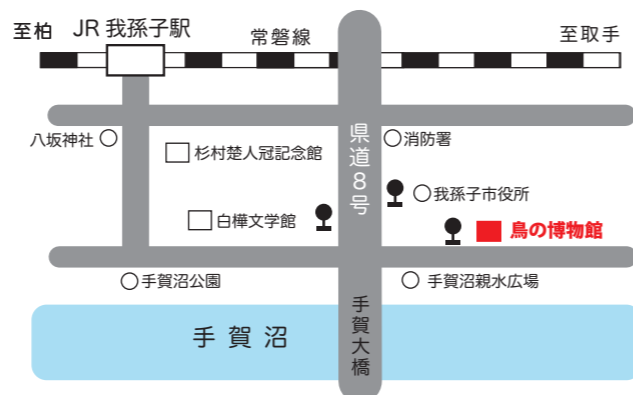
- ・入館料免除の方①70歳以上の方 ②障害者手帳等をお持ちの方(付き添い1名含む)
- ・中学生以下の方は入館無料
- *白樺文学館、杉村楚人記念館との共通券

●お問い合わせ：我孫子市鳥の博物館
〒270-1145 千葉県我孫子市高野山 234-3
☎: 04-7185-2212 FAX: 04-7185-0639



交通案内

JR 我孫子駅南口バス停より市役所経由
バスで「市役所」下車、徒歩5分
*毎週土日祝日は博物館行きのバスが運行しています
我孫子駅南口バス停より、天王台行きバスで「鳥の博物館」下車
天王台駅南口バス停より、我孫子駅行きバスで「鳥の博物館」下車
自動車利用の方は地図をご覧ください(駐車場無料/大型バス駐車可)



【特集】

我孫子市の鳥「オオバン」の今!

【最新情報】

新企画展「てがたん展 - あびこで楽しむ自然観察 -」がスタートします!

表紙の鳥 ミコアイサ

我孫子市の鳥「オオバン」の今！

オオバンは、今から 26 年前の平成 4 年(1992 年)12 月 1 日に我孫子市の鳥に指定されました。選定理由は「手賀沼で最も数が多く、一年中見る事ができるから」(我孫子市公式 HP より)です。当時オオバンの国内繁殖地の南限は手賀沼を含む関東地方の湖沼であり、市の鳥としての指定は我孫子市が唯一であることから、地域性や独自性が活かされた選択ではなかったでしょうか(図 1)



図 1. 市内の寿商店街に並ぶ市の鳥「オオバン」の街灯

我孫子市の鳥として四半世紀以上活躍してきたオオバンですが、この間手賀沼のオオバンの状況はどのように変化したのでしょうか？

鳥の博物館では、オオバンが市の鳥に指定される 4 年前から、毎月手賀沼のオオバンの個体数をカウントしています。年ごとの増減はあるものの、約 30 年の調査期間を通して見ると、繁殖期・非繁殖期ともに個体数が減少傾向を示しています(図 2)。

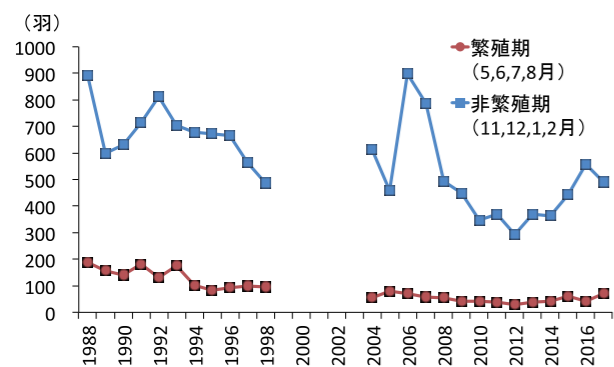


図 2. 手賀沼のオオバンの個体数(年変化)

ところが、全国的に見ると、オオバンは 1990 年代以降に分布域を拡大しており、越冬数は増加傾向にあります(橋本 2013)。特に滋賀県の琵琶湖では、指数関数的に越冬個体数が増加しています(図 3)。

越冬個体数の増加の要因として、国内での繁殖地の拡大やロシア、モンゴルから中国北部にかけての繁殖地で繁殖成功率が高まり繁殖地域が広がっている可能性が指摘されています(橋本 2013)。

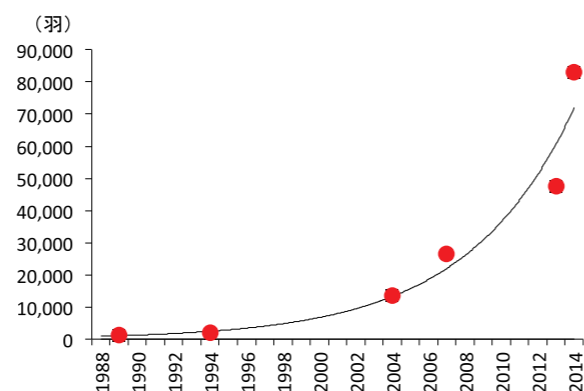


図 3. 琵琶湖のオオバンの越冬個体数の経年変化 (注) 橋本啓史ほか(2013)より描く

手賀沼のオオバンの減少は、オオバンの個体数が東アジアで全体的に減少しているからではなさそうです。手賀沼というローカルな越冬地の環境の変化が影響していると考えられます。北千葉導水事業や手賀沼遊歩道の整備に伴う土地改変、手賀沼のヨシ原の分布の変化、あるいは手賀沼内での餌付けの自粛要請などが影響しているのかもしれません。

全国の水鳥個体数のモニタリングデータを比べると、オオバンが増加している場所と減少している場所があり、増加している場所では 2010 年以降に急増しており、減少している場所では 2004 年以前からすでにオオバンが多かったことが指摘されています(神山 2018)。手賀沼も 2004 年以前からオオバンが多数見られた場所です。

手賀沼のオオバンの個体数の減少要因の解明には、個体数の減少している全国の湖沼に共通する環境の変化にヒントがあるかもしれません。

(引用文献)

橋本啓史 2013 オオバン Bird Reserch News10(2):6-7

神山和夫 2018 オオバンは全国的に増加、ところにより減少. バードリサーチニュース 10(2):6-7

最新情報

新企画展「てがたん展ーあびこで楽しむ自然観察ー」がスタートします！

「てがたん」とは、鳥の博物館の自然観察会です。博物館周辺の自然も展示の一部と考え、鳥をはじめ、植物や昆虫など四季とともに変化する生き物の様子を散歩感覚で観察しています。

「てがたん」をテーマにした企画展はこれまで3回開催されており、4回目になる今回の企画展では、各月のレポートとパンフレットを展示して「てがたん」の1年の流れを見ながら、自然観察の楽しみを皆さんにご紹介します。

展示期間：2/2(土)～6/16(日) 場所：博物館2階企画展示室



「てがたん」はこんな自然観察会！

博物館入口に集合

朝10時からスタート。双眼鏡の貸出しもしています。

案内人による解説

案内人の市民スタッフと見つけた生き物を観察しながらのんびり歩きます。

てがたんの下見

てがたんの一週間前に、市民スタッフと学芸員が集まり、実際に予定のコースを歩いて当日の観察ポイントを確認します。

パンフレット作り

下見をもとに、当日の見どころを紹介するパンフレットを作ります。

今月の鳥のお話

月ごとに身近な鳥を1つ選び、その生態や見分け方について学芸員がお話します。

鳥あわせ

観察の最後に今日見られた鳥を、みんなで確認します。てがたんの参加者はパンフレットを持参すると、当日の博物館の入館は無料です。

観察記録のまとめ

観察会終了後、観察した生き物の記録をスタッフが書き出します。

レポートの送付

希望した参加者には、観察記録をまとめたレポートを送付します。毎月のレポートを集めると、あびこの自然観察ガイドのできあがり！

イベント情報

- 展示
 - 第 83 回企画展「てがたん展ーあびこで楽しむ自然観察ー」
 - 期間：2/2(土)～6/16(日)
 - 場所：博物館2階企画展示室
- 講演・室内イベント
 - テーマトーク
 - 日時：毎月第3土曜日 13:30～14:15
 - 場所：博物館2階多目的ホール
 - 定員：先着 50 人(参加無料)
 - 講師：山階鳥類研究所所員

自然観察会は高校生以上の方は保険料 100 円がかかります
館内で行うイベントは参加無料でも入館料が必要です

- 自然観察会
 - 2019年1月～3月
 - てがたん～自然観察会～
 - 日時：毎月第2土曜日 10:00～12:00(雨天中止)
 - 定員：なし
 - 集合場所：博物館入口(予約不要)
 - あびこ自然観察隊④「オーイ！冬鳥くん」
 - 日時：2月17日(日) 9:00～12:00(雨天中止)
 - 集合場所：手賀の丘少年自然の家
 - 定員：50人(要予約)
 - 申込み：電話受付(手賀の丘少年自然の家 04-7191-1923)
 - あびこ自然観察隊⑤「春の谷津田観察会」
 - 日時：3月21日(木・祝) 9:00～12:00(雨天中止)
 - 集合場所：JR 東我孫子駅前
 - 定員：30人(要予約、小学3年生以下は要保護者同伴)
 - 申込み：3月1日より電話受付(鳥の博物館 04-7185-2212)